

令和  
5年度

# 多治見市PTA連合会 広報誌

No.38

# 多治見

～PTA えがおまもる～



## 基本方針

家庭・学校・地域の連携で  
子ども達の安心・安全を守る



## 連携を深め子供たちにできることを考える

多治見市PTA連合会

会長 加藤 吉登 (笠原中学校)



5/8の新型コロナウイルス5類移行に伴い全ての行動制限が解除されます。

しかしながら、この三年余り様々な活動が自粛や中止となり、そもそもこの活動や行事が必要なのかを改めて考え直している各単位PTA（育友会）も多いのではないかと思います。また、PTAの活動そのものに批判的なメディア発信もありPTA活動そのものに躊躇されている保護者の方もいるのではないかと思います。しかし、このような見直しが必要な今だからこそPTAとは何か、そしてそもそも何のためにこの活動が必要なのかを見直すよい機会だと思っております。

子供たちは、様々な場面で褒めてもらう事

によって成長の速度が上がると思っています。

まずは各家庭でのお手伝いや家庭内の学習での頑張りに対して褒めてあげる、学校での取り組みや学習で、先生から褒められる、地域の方々との交流の中で挨拶や取り組みに対して褒めてもらう等、各ご家庭からスタートし学校・地域と連携して子供たちの成長を促すこの基本的な取組が重要ではないかと思えます。

この一年間育友会の皆様と一緒にPTAのあり方を考えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

## 元気が生まれるPTA活動の展開を

多治見市小中学校校長会

会長 高橋 光弘 (養正小学校長)



「新型コロナの感染防止対策のため、私の中学校生活は臨時休校という形で始まりました。友達にも会えず、様々な行事も中止になりとても悲しかったです。でも、3年生になってできることが増えてきて、修学旅行や体育大会もできました。とてもうれしかったです。先生方や仲間に感謝しています。…」これは、市内のある中学生が卒業式で語った言葉です。

新型コロナにより、3年以上の間、学校の教育活動やPTA活動は、様々な制限や制約を強いられてきました。しかし、「できないこと」に目を向けるのではなく、「できること、できるようにしたいこと」に目を向けて全小

中学校が取り組みました。ただし、学校だけでは具現することはできませんでした。学校と保護者及び地域の方々の子どもに対する熱い思いがあったからこそ、子ども達の元気を生み出すことができたのだと思います。

コロナは消えたわけではありません。しかし、各校、「できること、できるようにしたいこと」を相談しながら、PTA行事や活動を進めてきましょう。保護者と教職員、そして時には地域の方々と手を取り合って、子ども達の元気を生み出すPTA組織でありたいと願います。

## 気持ち新たに“リスタート”

多治見市PTA連合会 家庭教育委員長 瀬古 梨絵子（脇之島小学校）

我が子に対して“家庭教育”なんて大それたことをできている自信は全くありませんが、奮闘しながらもこういった役を全うしていく姿を子どもたちが見て、感じて学んでくれればという気持ちで一年のスタートを切りました。

コロナウイルスの流行が始まって早3年。コロナ禍において、PTA活動全般と同じくストップしていたことが多い家庭教育委員の活動です。そもそも、この家庭教育委員の活動の大きな目的の一つは親同士の交流による、子育ての悩みやヒントの共有です。つまり会話を要することから、交流の止まってしまった学校も多いかと思います。

しかし、世の中での考え方が変わる中、ただ忙しく活動するだけではなく、負担を軽減しながら積極的に再開ができればと思っております。一年間よろしくお願ひします。

### 第1回家庭教育委員会

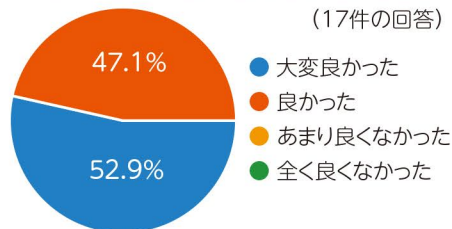
5月24日駅北庁舎にて、各学校の家庭教育委員長さんにご参加いただき開催しました。

今年度は、4～5人ずつのグループに分かれて、サロン形式での情報交流を行いました。皆さん時間いっぱいまで活発に意見交換されていました。

初めて委員長を担い、不安を抱えた方もいらっしゃったようですが、他の学校の話聞いてよかった、グループ交流が非常に盛り上がったとのよい意見をたくさんいただきました。時間を増やしたり、組み替えして他の学校の話も聞きたかったくらいのお声もありました。LINEグループも作成したので各学校同士で交流を図りながら楽しい活動を行っていきましょう。



本日の家庭教育委員会はどうか？  
(17件の回答)



## 令和5年度 多治見市PTA連合会定期大会

5月13日とうしん学びの丘エールにて、令和5年度多治見市PTA連合会定期大会を開催しました。

これをはじめとし、今年度も「地域や行政との連携」「単位PTA（育友会）間の情報共有」「令和新家族の約束7か条の推進」「アフターコロナの活動に関する見直し」など様々な活動に一丸となって取り組んでいきます。

### 特別講演会

「みんなの学校」が教えてくれたこと  
木村 泰子氏（初代 大空小学校校長）

「学びの目的は、その子とその子らしく育つこと。それ以外ありません」この言葉が印象的でした。子どもたちと周りにいる先生も私たち親も、たくさん失敗をして共にやり直しをして、共に学んでいく。誰もがありのままの姿で受け入れられる地域にある学校とは？私たちに何ができるか問い直し続けたいと思いました。





# 今が変革のチャンス！アフターコロナとPTA

新型コロナの感染拡大で、学校・学び方を含むあらゆる面で世界が変わりました。これをきっかけに、多治見市内のPTAも変革にチャレンジしています。アフターコロナに向け、今回はそんな各学校の取り組みの一部を紹介します。

北栄小レポート



## 北栄小学校

### やりたい人が楽しんでやるPTAへ

コロナになって、大規模な行事ができなくなってしまいましたが、規模を縮小しても子どもたちに喜んでもらえる行事はできることがわかり、クラス役員制度や、資源回収や北栄小伝統行事の「たのしみな祭」の実施方法などを見直しました。

#### ▶ クラス役員制度をすべて廃止

- 役員は本部役員のみとし、クラス役員は選出なし。
- 地区委員は通学班登下校が全員必須なことから、PTAから切り離し、学校管轄の組織とした。
- PTA主催のものはすべて都度ボランティアを募集。  
⇒集まらないものはやらない。もしくはやれる規模で行う。

#### ▶ たのしみな祭さい(北栄小伝統行事)の見直し

- メールでのアンケートで参加者を募り、役員としての参加はなし。  
代わりに北陵中学校生徒にボランティアを依頼。
- 人数が集まらなければ、規模を縮小し、集まった人数で行うか、保護者に限らず地域で手伝ってくれる人を集める。
- PTAブースの他に地域の8団体がブース協力。  
(射的、ヨーヨー、スーパーボールすくい、工作、生き物観察、軽スポーツ、トランプなど)  
今年度は保護者40名、中学生75名、高校生含む地域の方30名ほどが参加。  
自主的にブースを運営したい人も同時に募集。
- 子ども主体の祭りとの見直しで、祭名を子ども達から募集。投票により「ハッピーフェスティバル」に変更。

#### ▶ 資源回収

- 地区での大規模な改修は行わず、資源庫に集まった量による収益でできる規模の活動に

#### コメント

コロナ禍により「やらなければならぬ活動」が「やらなくても特に問題はない活動」であることに気づいた一方、子どもの学校生活に関わりたいという保護者の願いもあるため、「やりたい人が楽しんでやるPTA」としていきたい。「今までこうだったから」ではなく、その時その時にあった形で活動を行うことがこれからのPTAの在り方かもしれません。

#### ボランティア活動について

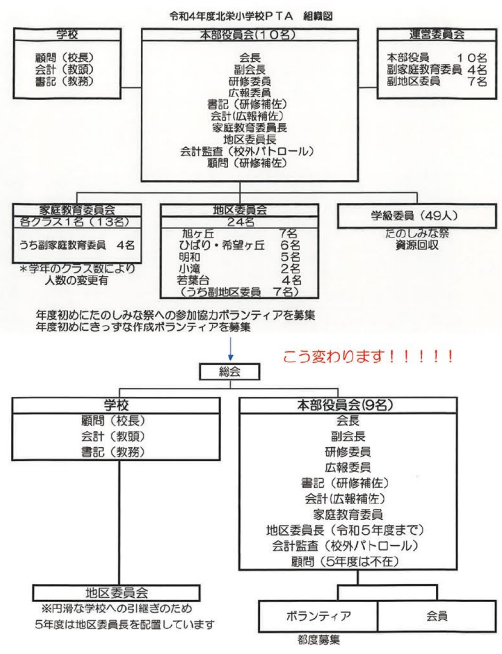
##### ① たのしみな祭

いままでは家庭教育委員・クラス役員・地区委員・本部役員・ボランティアの基本全員参加で実施  
今年度 一募集したボランティアの人数でできる規模のたのしみな祭にします。  
今までは決められた学年での活動でしたが、やる内容や日にちによって好きな学年の活動に参加できます。

##### ② すきな活動を自分で企画し提案してください！

友達同士でやらせてみようかしら  
パズルとか企画してみたいわ  
お母さんだけの参加ばかりかと思ってるけど父親でもいっしょに！  
他校でやってる「遠征中」とかお父さんあつめてやってみたいわ  
親子で参加りとかペンキ塗りとか、そういうのや子どもと一緒にやれるかも  
継続するのは大変だけど単発での活動ならやってみたいわ  
今までは仕事の都合が合わなかったけど、自分で立ち上げていければ自分で時間決められて助かるわ！

#### 令和5年度PTA組織図





## 北陵中学校

### 資源回収方法と学級委員制の見直し

コロナ以前から生徒数の減少により回収不可能の地区があり、校区全体での資源回収が難しくなっていました。これにコロナ禍が追い打ちをかけ、ここ数年の資源回収の中止により資源回収を行っても資源が以前より集まりにくい状況となり、資源回収やそれに必要な人員であった学級委員制について、従来のやり方を見直しました。

#### 資源回収方法を変更

- 校内に資源回収BOXを設置し学校に持って来て頂く形にし周知されてきました。

#### 学級委員制を廃止

クラスごとに3名の学級委員募集をやめ、広報委員と家庭教育委員をクラスの枠を超えて募集。

- 広報委員と家庭教育委員の仕事内容の資料も作成し、絆メールの配信や直接声がけ

#### コメント

3年ぶりのPTA総会で案内をしたところ、応募フォームで応募していただいた方、また当日に久しぶりに会えた方など声掛けで引き受けていただきました。想定よりは少ないですが、立候補による委員による1年目となります。見直しなどをして、参加しやすいPTAを目指していきます。



広報委員 (各学年3名程度募集)

【活動内容】年に2回発行する広報誌「北陵」のための、写真撮影・写真の選定・紙面作り  
R4の活動回数：委員一人当たり2回程度 他に可能な方のみ資源回収の手伝い

【昨年体験された委員さんの感想】  
体育祭では生徒の近くで撮影します！保護者側からは見られない子どもたちの笑顔やオフショットが沢山見られて、喜びを感じました。写真撮影では、修学旅行や研修旅行で先生方が撮影されたたくさんのお写真も見ることが出来ました。紙面作りも、必要なのはハサミだけ、みんなでわいわいしながら作成して楽しい時間でした。

2023年 北陵中PTAは変革の年を迎えます！活動内容を見直し、必要な部分のみ負担の少ない形で行います！！

#### 楽しみながら活動するPTAにぜひご協力ください

委員は「広報委員」と「家庭教育委員」の2つのみ、例年各クラスから1名ずつ揃っていましたが、今年度は学年で3名程度募集します。知り合いの方と一緒に申し込まれても、もちろん単独での申し込みも大歓迎。中学校の3年間はあっという間です。ぜひ、子どもと共に中学校での思い出作りをしませんか？

#### 家庭教育委員 (各学年3名程度募集)

【活動内容】高校見学の際の増進お手伝い、教育講演会の際の増進お手伝い  
R4の活動回数：委員一人当たり2回程度 他に可能な方のみ資源回収の手伝い

【昨年体験された委員さんの感想】  
高校見学では出陣確認と、グループ別で見学する際に参加として付き添うだけでした。高校見学は大変人気の行事で毎回抽選になりますが、委員はお手伝いがある代わりに優先になるので参加できて良かったです。



土曜児童高校見学の際の様子

## 昭和小学校

### ボランティア制への移行 ～できる人が できるときに できることを～

児童数減少や役員のなり手不足から同じ人が何回も役員をやる状況だったところに、コロナによる活動制限。これをきっかけに一度全て見直し、前例踏襲という考え方を捨て、時代や状況に即したPTAの運営を行うために改革を実行しました。

#### 委員会制から実行委員会制へ

- 地区委員以外の委員会を無くし、実行委員会がボランティアを統括。

#### ITツールの活用

- SNS・Web会議・動画配信・PTAメールなどを活用し、より身近で参加しやすいオープンな活動へ。

#### 大事にしたこと

- 保護者の負担を減らすことだけを目的とせず「できる人が できるときに できることを」
- 保護者が子どもとの時間を大切にしていける。

#### コメント

ボランティア制を軌道に乗せ、だれでも同じように思いやりの心をもってPTA活動を進めていけるよう道筋を作っていきたい。

昭和小レポート



今回取り上げたのはほんの一例で、市内各校とも活動の見直しを進めています。子どもたちのために価値のあるPTAでありつづけられるよう、市P連も各学校の交流・情報発信などを通じて支援していきます。良い事例等ありましたら是非ご紹介ください。





## 今後の予定

8月5日  
土

市長懇談会 (駅北庁舎4階 大ホール)

8月23日  
水

第2回家庭教育委員会 (駅北庁舎4階 第2・3会議室)

【講演】子どもの自己肯定感を育てるには (講師：瀬古 梨絵子)

11月29日  
水

第3回家庭教育委員会 (駅北庁舎4階 大ホール)

【講演】LGBTQ+ 性的マイノリティ 多様性 (講師：NPO法人 ASTA)

2月21日  
水

第4回家庭教育委員会

活動好例紹介・引き継ぎ

## いのちの教育支援事業補助金制度について

多治見市PTA連合会では、令和5年度、「ぎふ いのちの教育」に掲げられる「健康教育」「いじめ・不登校の防止教育」「自殺防止教育」「心の教育」の、市内公立小中学校での実施を促進するため、その授業・講演会等実施にかかる経費の補助をする、「いのちの教育支援事業補助金制度」を創設しました。毎年度、各校1回、上限10,000円を補助しますが、すでに数校から申請があり、交付しています。今後、いのちの教育に関わる事業を検討・計画されている学校でも、ぜひご活用ください。



↑生徒たちが真剣に講師の話聞く様子

市内中学校での  
授業風景

←性感染症がどのように広がるかを、ピーカーの水の汚染の広がり方を観察する実験で学ぶ様子

## 令和5年度 多治見市PTA連合会 役員紹介

会長	加藤 吉登 (笠原中学校)
副会長	伊藤威一郎 (陶都中学校)
	早川威佐夫 (市之倉小学校)
	瀬古梨絵子 (脇之島小学校)
	小木曾 歩 (小泉小学校)
書記	奥山 泰子 (精華小学校)
	柴川 瑞規 (根本小学校)
会計	山口 紀江 (多治見中学校)
	鈴木 稔朗 (事務局)
会計監査	加藤 誠司 (笠原中学校)
顧問	佐上 容子 (北陵中学校)
監事	高橋 光弘 (養正小学校)【多治見市小中学校校長会長】
	加藤 智夫 (笠原中学校)【多治見市PTA連合会会長在籍校長】

